

前橋文学館リーディングシアターvol.27「イエスタデイ」を開催します

清水邦夫氏が多摩美術大学で学生の卒業公演のため反戦の願いを込めて書き下ろした本作は、木冬社による上演を経て、前橋文学館でもリーディング上演を重ねてきました。本作の初演にスタッフとして参加した、青年団の大竹直氏を演出に迎え、前橋文学館の夏は新たなステージを迎えます。

上演後に萩原朔美特別館長のメッセージ「上野毛イエスタデイ 清水邦夫とイエスタデイの頃」を上映します。

海鳴りの聴こえる古びた写真館。

取り壊しを前にしたその場所で、姉と弟は遠い夏の出来事を語りはじめる。

写真は一瞬をとどめる。そこに写らなかった気配や沈黙までは封じこめられない。

失われた昨日は、消えたのではない。記憶のなかで、いまでも静かに揺れ続けている。

- 1 日 時 8月9日（日）開演：14時（開場：13時30分）
- 2 場 所 前橋文学館3階ホール（千代田町三丁目12-10）
- 3 観覧料 1,000円
- 4 対 象 一般、先着100人
- 5 内容等 別紙フライヤー参照
- 6 申込み 前橋文学館（TEL：027-235-8011）へ
- 7 リーディングシアターとは

役者による朗読と、音楽や照明を融合させた朗読劇です。

本件に関するお問い合わせ先

文化国際課 文学館

電 話 027-235-8011